

フォルダインポート

複数のソースファイルを1つのテーブルとしてインポートする

◇フォルダインポートとは

《フォルダインポート》は、指定したフォルダ内の複数のソースファイルを1つのテーブルとしてインポートする機能です。

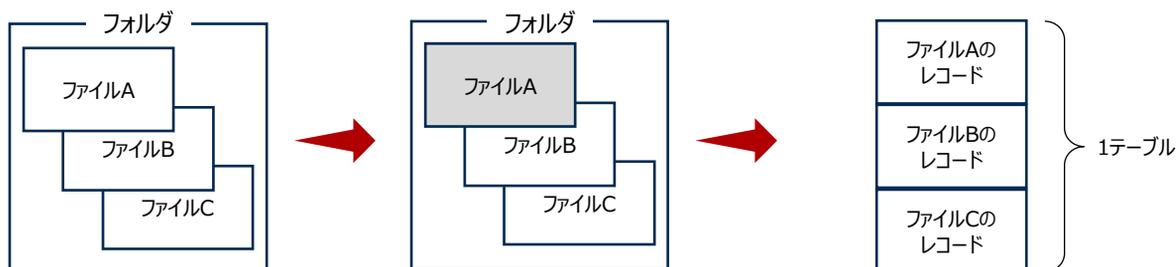
※ソースファイルとして、Excelファイル、CSVファイルなどの区切り文字付テキストファイルが使用できます。

<フォルダインポートのイメージ>

1つのテーブルとしてインポートしたいソースファイルをフォルダに保存する

インポートの基準とするファイル（基準ファイル）を指定する

基準ファイルのレイアウトに沿って、フォルダ内のファイルが1つのテーブルにインポートされる



<使用例>

- 1～12月の月別の売上データのファイル（12個のファイル）を、1年間のテーブルとしてインポートする。
- 事業所の各部門から回収した勤怠データのファイルを、事業所全体のテーブルとしてインポートする。

◇フォルダインポートの動作

- ソースファイルのファイルの種類は、同じでなければなりません（ExcelファイルとCSVファイルを《フォルダインポート》でインポートすることはできません）。
- ソースファイルを保存するフォルダは、「03_source」フォルダ、または、「03_source」フォルダのサブフォルダでなければなりません。
- 「基準ファイル」として選択したファイルのファイルのプロパティおよびフィールドのプロパティに基づいてテーブルが作成されます。
- 各ソースファイルの同じ名前の列が同一のフィールドとみなされます。
 - 「基準ファイル」以外のファイルにのみ存在する列は、インポートされません。
 - 列の並び順は異なっても構いません。ただし、インポート時に「インポート開始行をフィールド名として使用する」オプションを選択しなかった場合（フィールド名が「Column1、Column2、・・・となる場合）は、列の並び順で同一フィールドが決定されます。
- ソースファイルのインポートの順番は、ナビゲータの「ソースファイル」フォルダでのファイルの表示順となります。サブフォルダがある場合は、ルートフォルダのファイルがインポートされた後、サブフォルダのファイルがインポートされます。
- サブフォルダのファイルも含めてインポートする場合、同じファイル名のファイルが異なるフォルダに存在すると、インポート後にどのファイルがインポートされたレコードかが区別しづらくなるため、ソースファイルは同じ名前にならないようにすることをお勧めします。

◇インポートされないファイル

「基準ファイル」と以下の点が異なるファイルは、インポートできません。

- ソースファイルがExcelファイルの場合：ワークシート名
- ソースファイルがテキストファイルの場合：文字のエンコード、区切り文字、文字列の引用符

◇フォルダインポートの手順

フォルダインポートは、以下のステップで行います。

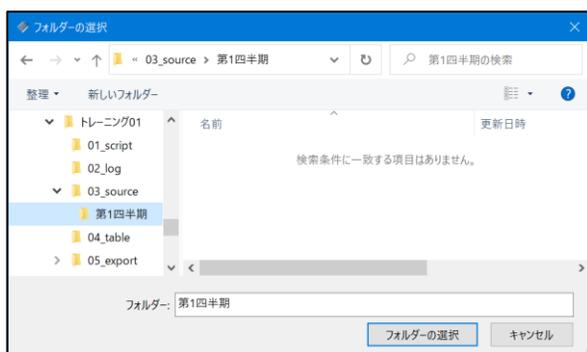
(1) メニューの選択 → (2) フォルダの選択 → (3) インポート対象とするファイルの指定 → (4) シートの選択／ファイルのプロパティ設定 → (5) フィールドプロパティ設定 → (6) テーブル名の保存

(1) メニューの選択

メニューバーの《インポート》をクリックし、《フォルダインポート》をクリックします。

(2) フォルダの選択

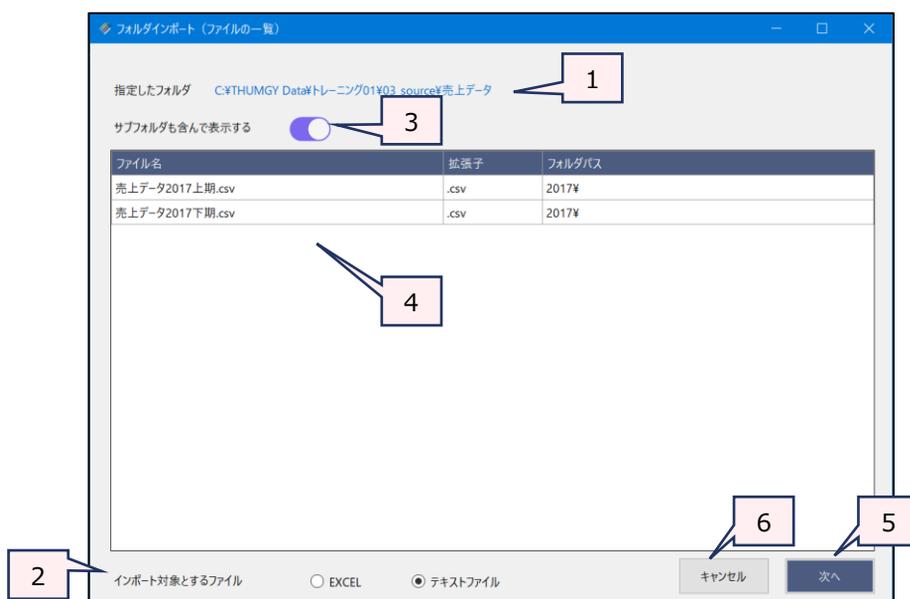
プロジェクトフォルダ内の「03_source」フォルダまたはサブフォルダを選択し、《フォルダの選択》をクリックします。



- 「フォルダの選択」画面では、フォルダ内のファイルは表示されません。

(3) インポート対象とするファイルの指定

インポート対象とするファイルの種類などを選択し、《次へ》をクリックします。



1. 指定したフォルダ：指定したフォルダのパスおよびフォルダ名が表示されます。

2. インポート対象とするファイル：

インポートするファイルの種類を選択します。フォルダ内にExcelファイルとテキストファイルが保存されていても、選択したファイルの種類と一致するファイルのみがインポート対象となります。

3. サブフォルダも含んで表示する：

指定したフォルダ内のサブフォルダに保存されているファイルをインポート対象とするかどうかを選択します。

4. ファイルの一覧 : 「インポート対象とするファイル」および「サブフォルダも含んで表示する」の選択により、インポート対象となるファイルの一覧が表示されます。

- 一覧には、「ファイル名」、「拡張子」、「フォルダパス」が表示されます。サブフォルダ内のファイルは、「フォルダパス」にサブフォルダ名が表示されます。
- この一覧で表示されるファイルの順番でインポートが行われます。

5. 《次へ》ボタン : 次の画面へ進みます。

6. 《キャンセル》ボタン : 実行せずに画面を閉じます。

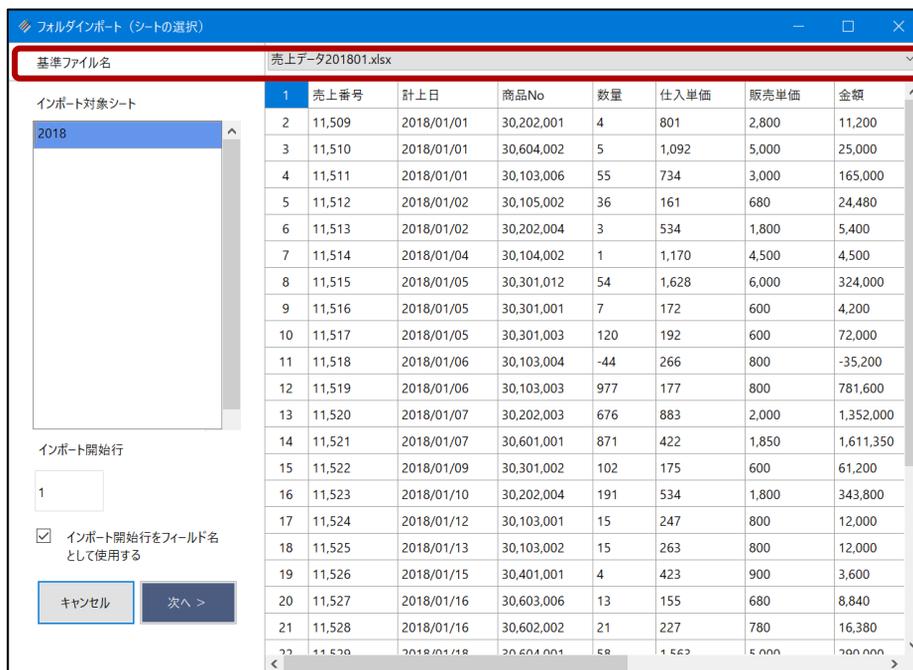
(4) シートの選択/ファイルのプロパティ設定

「基準ファイル名」のリストからインポートの基準とするファイル（基準ファイル）を選択し、ファイルについての設定を行い、《次へ》をクリックします。

「インポート対象とするファイル」で選択したファイルの種類により、設定項目が異なります。

＜「インポート対象とするファイル」で「EXCEL」を選択した場合＞

「基準ファイル名」以外の項目については、「◇Excelファイルのインポートの手順」の「(3) シートの選択」を参照してください。



＜「インポート対象とするファイル」で「テキストファイル」を選択した場合＞

「基準ファイル名」以外の項目については、「◇CSVファイルなどの区切り文字付きテキストファイルのインポートの手順」の「(3) ファイルのプロパティ設定」を参照してください。



(5) フィールドプロパティ設定

フィールド（列）ごとのデータ型の設定などを行い、「次へ」をクリックします。

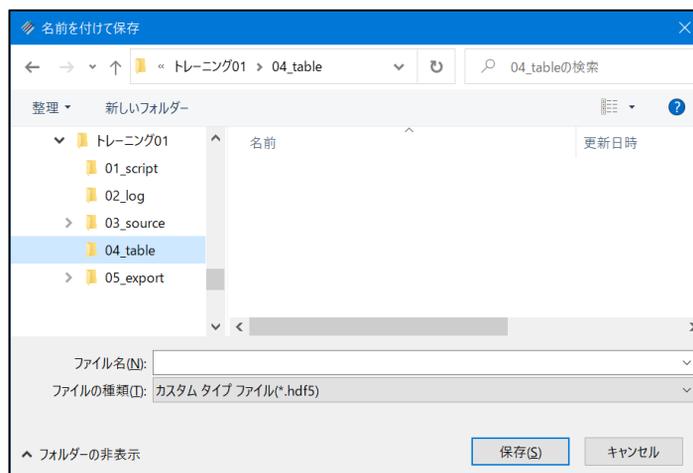
設定については、「◇Excelファイルのインポートの手順」または「◇CSVファイルなどの区切り文字付きテキストファイルのインポートの手順」の「(4) フィールドプロパティ設定」を参照してください。

フォルダインポート (フィールドのプロパティ設定)						
ファイル名	売上データ201801.xlsx			シート名	2018	
データ型	数値型 (整数)	文字型	数値型 (整数)	数値型 (整数)	数値型 (整数)	数値型 (整数)
書式設定	桁区切り有り		桁区切り有り	桁区切り有り	桁区切り有り	桁区切り有り
フィールド名	1	売上番号	計上日	商品No	数量	仕入単価
フィールド選択	2	11,509	2018/01/01	30,202,001	4	801
	3	11,510	2018/01/01	30,604,002	5	1,092
	4	11,511	2018/01/01	30,103,006	55	734
<input type="checkbox"/> 全てのデータ型を文字型に変換する。	5	11,512	2018/01/02	30,105,002	36	161
	6	11,513	2018/01/02	30,202,004	3	534
	7	11,514	2018/01/04	30,104,002	1	1,170
	8	11,515	2018/01/05	30,301,012	54	1,628
	9	11,516	2018/01/05	30,301,001	7	172
	10	11,517	2018/01/05	30,301,003	120	192
	11	11,518	2018/01/06	30,103,004	-44	266
	12	11,519	2018/01/06	30,103,003	977	177
	13	11,520	2018/01/07	30,202,003	676	883
	14	11,521	2018/01/07	30,601,001	871	422
	15	11,522	2018/01/09	30,301,002	102	175
	16	11,523	2018/01/10	30,202,004	191	534
	17	11,524	2018/01/12	30,103,001	15	247
	18	11,525	2018/01/13	30,103,002	15	263
	19	11,526	2018/01/15	30,401,001	4	423

(6) テーブル名の保存

「ファイル名」にテーブル名を入力し、「保存」をクリックします。

- テーブル名の長さは、64文字までです。
- テーブルは、拡張子「.hdf5」のファイルで作成されます。
- ファイルの保存場所は、プロジェクトフォルダ内の「04_table」フォルダです。



◇テーブルの画面

《フォルダインポート》で作成したテーブルは、1フィールド目が[ソースファイル名]フィールドになり、インポート元のファイル名が表示されます。「インポート対象とするファイル」で「EXCEL」を選択した場合は、2フィールド目が[シート名]フィールドになります。

	ソースファイル名	シート名	売上番号	計上日	商品No	数量	仕入単価	販売単価	金額
1	売上データ201801.xlsx	2018	11509	2018/01/01	30202001	4	801	2,800	11,200
2	売上データ201801.xlsx	2018	11510	2018/01/01	30604002	5	1,092	5,000	25,000
3	売上データ201801.xlsx	2018	11511	2018/01/01	30103006	55	734	3,000	165,000
4	売上データ201801.xlsx	2018	11512	2018/01/01	30103006	1	680	680	24,480
5	売上データ201801.xlsx	2018	11513	2018/01/01	30103006	1	1,800	1,800	5,400
6	売上データ201801.xlsx	2018	11514	2018/01/04	30104002	1	1,170	4,500	4,500
7	売上データ201801.xlsx	2018	11515	2018/01/05	30301012	54	1,628	6,000	324,000
8	売上データ201801.xlsx	2018	11516	2018/01/05	30301001	7	172	600	4,200
9	売上データ201801.xlsx	2018	11517	2018/01/05	30301003	120	192	600	72,000
10	売上データ201801.xlsx	2018	11518	2018/01/06	30103004	-44	266	800	-35,200
11	売上データ201801.xlsx	2018	11519	2018/01/06	30103003	977	177	800	781,600
12	売上データ201801.xlsx	2018	11520	2018/01/07	30202003	676	883	2,000	1,352,000
13	売上データ201801.xlsx	2018	11521	2018/01/07	30601001	871	422	1,850	1,611,350
14	売上データ201801.xlsx	2018	11522	2018/01/09	30301002	102	175	600	61,200

[ソースファイル名]フィールドの値で、複数のソースファイルのレコードがインポートされていることが確認できます。

	ソースファイル名	シート名	売上番号	計上日	商品No	数量	仕入単価	販売単価	金額
26	売上データ201801.xlsx	2018	11534	2018/01/24	30601002	22	565	1,850	40,700
27	売上データ201801.xlsx	2018	11535	2018/01/24	30601002	381	680	25,840	
28	売上データ201801.xlsx	2018	11536	2018/01/24	30601002	80	1,000	2,000	
29	売上データ201801.xlsx	2018	11537	2018/01/29	30602001	7	363	780	5,460
30	売上データ201801.xlsx	2018	11538	2018/01/31	30301014	85	630	2,250	191,250
31	売上データ201802.xlsx	2018	11539	2018/02/09	30104006	58	439	1,450	84,100
32	売上データ201802.xlsx	2018	11540	2018/02/10	30603005	93	219	680	63,240
33	売上データ201802.xlsx	2018	11541	2018/02/11	30201002	309	432	800	247,200
34	売上データ201802.xlsx	2018	11542	2018/02/11	30201002	99	400	283,200	
35	売上データ201802.xlsx	2018	11543	2018/02/11	30201002	423	900	175,500	
36	売上データ201802.xlsx	2018	11544	2018/02/14	30104003	550	687	1,450	797,500
37	売上データ201802.xlsx	2018	11545	2018/02/15	30602004	-17	185	780	-13,260
38	売上データ201802.xlsx	2018	11546	2018/02/15	30106003	107	0	0	0
39	売上データ201802.xlsx	2018	11547	2018/02/16	30301014	229	630	2,250	515,250

◇操作ログ

IMPORT FOLDER TYPE ファイル形式 **TO** "テーブル名" **FROM** "指定したフォルダ名" **SUBFOLDER** **BASE** "ファイルパス¥基準ファイル名" **TABLE** "インポート対象シート名" "文字エンコード" **QUOTECHAR** "文字の引用符" **SEPARATOR** "区切り文字" **STARTLINE** n **FIELD** [フィールド名1] データ型 PIC 書式 **FIELD** [フィールド名2] データ型 PIC 書式 …

※「ファイル形式」は、「インポート対象とするファイル」の選択によって異なります。

インポート対象とするファイル	ログ
EXCEL	EXCEL
テキストファイル	DELIMITED

※「指定したフォルダ名」は、「03_source」フォルダを指定した場合は、「'''」と記述されます。

※「サブフォルダも含んで表示する」を選択した場合は、「SUBFOLDER」が記述されます。

※「インポート対象とするファイル」で「EXCEL」を選択した場合は、「TABLE」にインポート対象シート名が記述されます。

(例) 「インポート対象シート」で「sheet1」を選択した場合：TABLE "sheet1"

※「インポート対象とするファイル」で「テキストファイル」を選択した場合は、「文字エンコード」で選択した値が記述されます。

(例) 「文字エンコード」で「CP932」を選択した場合："CP932"

※「インポート対象とするファイル」で「テキストファイル」を選択した場合は、「QUOTECHAR」に「文字の引用符」で選択した値が記述されます。

(例) 「文字の引用符」で「二重引用符」を選択した場合：QUOTECHAR ""

※「インポート対象とするファイル」で「テキストファイル」を選択した場合は、「QUOTECHAR」に「文字の引用符」で選択した値が記述されます。

(例) 「文字の引用符」で「二重引用符」を選択した場合：QUOTECHAR ""

※「インポート対象とするファイル」で「テキストファイル」を選択した場合は、「SEPARATOR」に「区切り文字」で選択した値が記述されます。

(例) 「区切り文字」で「カンマ」を選択した場合：SEPARATOR ","

※「STARTLINE」には、「インポート開始行」で指定した行数が数値で記述されます。

※「FIELD」には、インポートするフィールドごとに、フィールド名、データ型、書式（PIC 書式）が記述されます。

<データ型>

データ型	ログ
文字型	C
数値型（整数）	N
数値型（10進数）	F
日付時刻型	D



<書式>

データ型	書式	ログ
文字型	なし	なし
数値型（整数・10進数）	桁区切り有り	PIC "True"
	桁区切り無し	PIC "False"
日付時刻型	yyyy/mm/dd など	PIC "yyyy/mm/dd" 選択した書式に応じた記述になります。